

暑い夏 真っ盛りです

校長 竹本 俊穂

7月23日（金）から東京ではオリンピックが開催され、日本人アスリートのメダルダッシュとなっています。スケートボードなどでは10代の選手（中学生を含む）が活躍し、大いに刺激を受けた子どもたちも多いのではないのでしょうか。

子どもたちには、夏休み期間（7月21日～8月26日）も規則正しい生活を送り、健康で安全に過ごしてほしいと思っております。8月27日（金）の学校再開日に、ひとまわり成長したたくましい姿で登校してくれることを楽しみにしています。

特別支援学校との交流 [7月5日] (中学2年)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、本年度はオンラインで福井特別支援学校と交流しました。自分たちで用意したゲームを、一人一人の障がいや特性にあわせて楽しんでもらいました。交流を通して、相手のことをよく考え、必要な手助けをするという心遣いを学び、全ての人が暮らしやすい社会をつくる大切さを考えることができました。



七夕会 [7月7日] (幼稚園)

織り姫と彦星が年に1度だけ会える日、七夕会を行いました。子どもたちは自分の願いを發表したり、ゲームをしたりして楽しい時間を過ごしました。また、短冊などを付けた笹に願いを込めながら歌を歌いました。最後に楽しかったこと、ゲームで悔しかったことなどを發表し、みんなで七夕会を振り返りました。

絵本の読み聞かせ [7月8日・13日] (小学校1年・2年)

読み聞かせボランティアの高橋さんより子どもたちに読み聞かせをしていただきました。1年生は、「おいしそうなしろくま」（しろくまがいろいろな食べ物の中に入ってしまおう話）と「おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん」（先祖に関するお話）を聞きました。また、2年生は、「えんにち 奇想天外」（縁日を歩きながらたくさんの四字熟語が紹介されるお話）でした。子どもたちは高橋さんの身振り手振りを交えた楽しい読み聞かせに引き込まれ、大変満足した様子でした。高橋さんありがとうございました。



文芸創作教室〔7月13日〕(中学校3年)

俳人の西村圭子先生を講師にお迎えして、俳句に関する出前文芸創作教室が実施されました。最初は、生徒が事前に修学旅行の様々な場面を切り取って創作した俳句に対して、一人ひとり先生の添削をお聞きしました。次に、季語の魅力について、生徒とともに季語集めをしました。生徒たちは、ひとつひとつの言葉の大切さを感じ取っていたようでした。西村先生ありがとうございました。



ALTの離任式〔7月14日〕(中学校)

外国語指導助手(ALT)のジェシカ先生が母国のイギリスに帰国されることになり、離任式を行いました。式では、生徒代表から感謝の言葉をお伝えし、花束をお贈りしました。今後の予定としては韓国でALTとして勤務されると聞いています。ジェシカ先生、1年間のご指導ありがとうございました。

DIM1000プロジェクト(小学校5年)

「大安禅寺の池にメダカを千匹放そう」という「DIM1000プロジェクト」に小学5年生が取り組んでいます。5年生は、エサや産卵場所、水質などの条件の違いによって、メダカの成長にどんな差が出るのかを調べながら育ててきました。夏休み中は、子どもたちが家で観察しながら育てます。元気よく大きくなってほしいですね。



新型コロナウイルスの感染拡大が心配なときもありましたが、おかげさまで子どもたちは、この4ヶ月間を笑顔で元気に学校生活を送ることができました。地域・保護者の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

また、保護者の皆様には、お忙しいところ、7月15日(木)および7月16日(金)の保護者会にお越しいただきありがとうございました。今後とも保護者の皆様とのコミュニケーションを大切にしながら、保護者の皆様とともにお子様の成長を支援していきたいと考えております。気がかりなことがございましたら、遠慮なくご相談ください。

なお、8月12日(木)から8月16日(月)までの5日間は福井市小中学校の学校閉庁日となります。この期間は教職員の勤務はありませんのでご了承ください。

まだまだ暑い日が続きますが、新型コロナウイルス感染症対策や熱中症等、子どもたちの健康に留意しながら、学校再開に向け準備してまいりますので、引き続き皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

